

 医学統計学研究センター
平成 29 年度第 1 回セミナー

研究デザインと統計学のセンス
Study design and Good Taste in Biostatistics

講 師： 丹後俊郎（医学統計学研究センター）

日 時： 平成 29 年 4 月 21 日（金） PM1：15～PM5：00

場 所： 汐留イタリア街東京茶業会館 8 F 東茶協ホール

テキスト： 丹後俊郎. 統計学のセンス—デザインする視点・データを見る目、朝倉書店（1998）

参考書： 丹後俊郎, Taeko Beque. 統計解析の英語表現—学会発表, 論文作成に向けて、朝倉書店（2009）

※ 当日、テキスト購入を希望される方は事前登録が必要です。3,400 円（税込）

対 象： 臨床医学、公衆衛生学、疫学などの研究に従事している大学院生、研究者、実務家、
臨床開発に従事している製薬企業の統計担当者、その他、本セミナーに興味のある者

参加費： A：アカデミック 1 万 2 千円（大学・病院・研究機関所属の方）
B：ノン・アカデミック 2 万 4 千円

定 員： 50 名（定員に達し次第受付締切）

セミナーの内容：

今日、無作為化（ランダム化）比較試験（RCT, randomized controlled trial）は新しい治療（treatment）、より広くは人の健康に良い方向への効果が期待される介入（intervention）の効果を科学的に評価するために実施される実験であり、最も質の高い科学的根拠を提供できる研究デザインであると言われている。そのデザインと統計解析に関しては、（生物）統計学者によって数多くの方法が開発されてきている。一方で、「計画性がなく、過去の病歴ファイルの中から抽出した素性の知れぬデータにいろいろ検定を適用して、ようやく見つけた有意差を大事にして報告された学会発表、論文発表」も氾濫している。

本セミナーでは、統計学的推測の基礎となる用語 *random*（無作為な、任意の、でたらめな、偶然の、確率的な、ランダム）に焦点をあて、

- 1) 治療法の比較においては、なぜ、無作為化（randomization）が必要かつ重要なのか？
（よく言われる「比較可能性（comparability）」は「性質」であって「本質」ではない！）
- 2) そもそも、無作為化に使用される乱数（random number）とは一体何なのか？その効用は？
（実は、乱数の発見は20世紀の大発見とも言われている？）
- 3) 教科書には統計学的推測が相手にするのは母集団から無作為に抽出された標本（random sample）とあるが？
- 4) 無作為化が不可能な観察的研究（observational study）では、どのような問題点が存在するのか？

など、研究デザインを考えるとときに生じる統計学的諸問題を解説する。データを見る目を磨き、センスある研究を遂行するためには、統計学のセンス、とりわけ、乱数、無作為化の役割とその重要性を認識することが、そのファースト・ステップとして必要不可欠である。

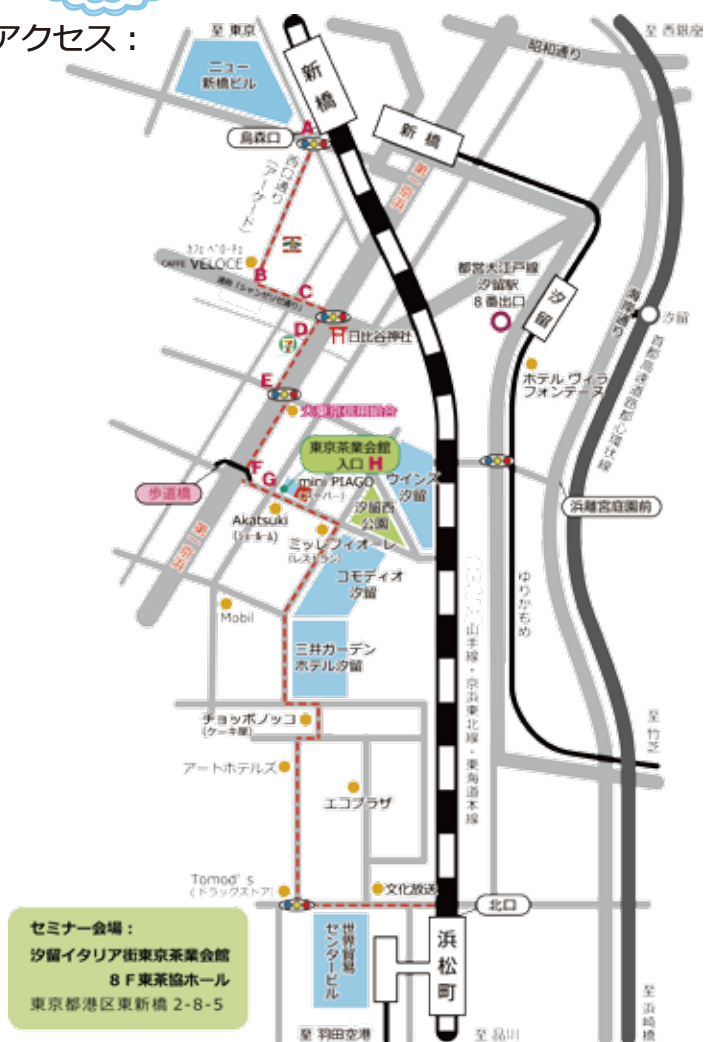


エレガントな汐留イタリア街で行われる
最先端のセミナーに参加しませんか？



Coffee Break では素敵な音楽と Coffee & Sweets が楽しめます

アクセス：



**東京茶業会館 8 F
東茶協ホール**
港区東新橋 2-8-5
(汐留イタリア街)

JR「浜松町」駅「新橋」駅
地下鉄大江戸線・ゆりかもめ
「汐留」駅、地下鉄三田線
「御成門」駅より 徒歩7分
地下鉄浅草線・大江戸線
「大門」駅より 徒歩8分

<http://medstat.jp/info/mapseminar2017jan.pdf> に新橋から会場までの説明案内がごございます。詳細はそちらをご覧ください。

セミナー参加申込方法：

参加希望の方は、配布資料の準備もごございますので、事前登録をお願い致します。

4/13 (Thu)

までに、できる限り、

参加申し込みは  e-mail にて承ります。参加費は当日お支払い下さい。

※領収書と参加証明書お渡し致します

宛先：secretary@medstat.jp

件名：第1回セミナー参加申込

本文：1. ご氏名 2. ご所属 3. 参加申し込み区分
4. テキスト購入希望の有無

※セミナーのお申し込みをいただいてからお申込者様のご都合でキャンセルされる場合、キャンセル料を申し受けますので、ご注意ください。セミナー開催の

8日前（開催当日を含まず）まで： 不要
7日前 - 前々日のキャンセル： 参加費の半分
前日 - 当日のキャンセル： 全額